

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催フィールド言語学ワークショップ

テクニカル・ワークショップ

Two-day lecture and workshop on “linguistic fieldwork and language documentation”

連続講義・実習「フィールド言語学と言語ドキュメンテーション」

開催のお知らせ・募集要項

このワークショップは少数言語・危機言語のフィールドワーク、ドキュメンテーションを行っている、あるいは近い将来行う予定の研究者・学生の皆様を対象に、調査・研究に役立つ知見や知識を伝えることを目的としています。インドネシア・パプア州での豊富な調査経験を持つ Sonja Riesberg 博士を講師に迎えて開催します。

主に扱うトピックは以下の二つです。

- (1) データアノテーションソフト ELAN (講義および実習)
- (2) フィールド言語学の手法：フィールドで話者から調査・研究目的に沿ったデータを引き出す方法 (講義)

上記のテーマにご関心をお持ちの方のご参加をお待ちしております。

## 記

1. 開催日時：2017年3月14日(火)・15日(水) 10:30-16:00 (両日とも)

	14日	15日
10:30-12:00	講義：ソフトウェア ELAN～機能と使用法の概略	講義：フィールド言語学の手法～目的に沿ったデータを引き出す方法
13:00-16:00	実習：ELAN	各自のデータに対する ELAN を用いたアノテーション作業と講師への質問・相談

※ 午前中の講義のみの出席も可能です。実習に参加される方はパソコンをお持ちください。

2日目(15日)の午後は各参加者が自身のデータを持ちより、講師への質問・相談を行いながら、ELAN を用いたデータ・アノテーション作業を行う予定です。原則として既に調査データを持っている参加者が対象です。

2. 開催場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA 研)  
マルチメディア会議室 (3F・304)
3. 講師：Sonja Riesberg 博士 (オーストラリア国立大学、ケルン大学、AA 研共同研究員)
4. 参加資格：言語学のフィールドワークを行っている、あるいは、これから行おうとする研究者・学生 (大学院生以上を原則とします)

5. 参加申込方法：次の情報を下記「7. 申込先」宛に電子メールでお寄せ下さい。

(1) 氏名（ローマ字） (2) 所属 (3) 連絡先メールアドレス

※件名は必ず、テクニカル・ワークショップ「フィールド言語学と言語ドキュメンテーション」  
受講希望として下さい。

6. 申込締切：2017年3月9日（木） 午前11時59分

7. 申込先：

「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」事務局  
lingdy-apply[at]aacore.net（[at]を@に変えて送信ください）

8. その他：

- ・講義は英語で行います。通訳はありません。
- ・参加は無料です。

※ご不明な点がございましたら、上記「7. 申込先」までお問い合わせください。

※過去のテクニカル・ワークショップにつきましては、

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/fieldling-ws/data-pro-ws> をご覧ください。

主催：頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム「危機言語・少数言語  
を中心とする循環型調査研究のための機動的国際ネットワーク構築」

後援：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向け  
た循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

以上